

初回調査時の案内文

「治療と仕事の両立支援を必要とする復職後の患者に対する離職要因を検討するための調査」 調査参加者の方へ

本調査は、以下の内容に同意をされる方のみを対象とします。同意される方は、「同意する」の項目にチェックをしてから、回答にお進みください。

1. 研究課題名 治療と仕事の両立支援を必要とする復職後の患者に対する離職要因を検討するための調査
2. 研究期間 西暦 2022 年 10 月から西暦 2025 年 9 月まで
※この研究期間には、データ収集後のデータ解析、報告書の作成、論文執筆等の期間を含みます。本調査自体への回答期間は 2022 年 10 月末までとなります。ただし、回答数が目標数（1000 件）に達した時点で締め切ります。
3. 研究機関 産業医科大学
4. 研究責任者 産業生態科学研究所産業精神保健学研究室 教授 江口尚
5. 研究の目的と意義

治療と仕事の両立支援（以下、両立支援）への関心の高まりとともに、患者が職場復帰時に事業場から両立支援を受ける機会は増えています。これまでの両立支援は診断時の不必要な退職や離職の予防に関心が向けられていました。復職時に適切な両立支援を受けることにより、就労継続し、職場復帰する事例が増えています。一方で、両立支援の次の段階として、職場復帰後に両立支援を受けていたにも関わらず、一定期間就労を継続したのちに、離職や退職をする患者が一定数いることが認識されています。しかし、その実態の調査はこれまでされていませんでした。

そこで、本研究では、職場復帰後に離職する労働者の実態を把握することを目的としました。

6. 研究の方法

本調査は、楽天インサイト株式会社に委託して実施されます。対象者は、楽天インサイト株式会社が保有するパネル参加者 220 万人の中からメールやマイページを通じて参加の呼びかけを行い、研究参加に同意した参加者が任意に回答します。調査の参加基準は、以下の通りです。

調査実施時点で、がん又は指定難病の診断を受けて1年以上経過している。

調査実施時点で、何か収入になる仕事をしている。

調査実施時点で、現在の健康状態で仕事を継続するにあたって、会社から配慮や支援が必要である。

調査実施時点の年齢が20歳から65歳である。

なお、アンケートの回答に要する時間は、約20分です。

また、ご回答いただきました約1年後に、再度、異なった内容の質問票にご回答いただきます。

7. 対象者に生じる利益、負担及び予測されるリスク

本研究に参加することによる直接的な利益および経済的負担はありません。また楽天インサイト株式会社より謝礼として規定のポイントが付与されます。本研究は一切の利益相反はなく、産業医科大学利益相反委員会の承認を得ており、公正性を保ちます。

アンケート内容は、日常生活や仕事に関する一般的な内容であり、心理的圧迫をもたらす可能性は極めて低いと考えられますが、途中で、不快に感じた場合には、自由に中断をすることができます。楽天インサイト株式会社の情報取り扱いについては以下の URL で確認できます。

<https://member.insight.rakuten.co.jp/explanation/security/>

8. 対象者の自由な選択と同意撤回の保障

対象者は研究に参加することの利益と不利益を説明された上で、研究への参加または不参加を自由に選択できること、また、いつでも同意の撤回ができること、たとえ研究に参加しなくても、あるいは途中で参加を中止しても、何ら不利な取り扱いを受けないことが保障されます。回答完了後に、同意撤回の申し出をされると個人を特定することができなくなるため、データからの削除をすることができません。同意撤回をされる際には、回答完了前に途中終了での対応をお願いします。

9. 個人情報の取り扱い

氏名等の個人を直接特定できる情報を削除した後、楽天インサイト株式会社より納品されるため、本研究では研究者が個人情報を取得することはありません。

10. 得られた情報の利用目的の範囲

学術発表など研究目的：あり

第三者提供：なし

海外への提供：なし

公的データベース等への登録：なし

11. その他

本研究は、令和4年度厚生労働科学研究費補助金（労働安全衛生総合研究事業）「治療と仕事を両立する患者に対する継続な支援の実態と方策の検討（22JA0201）」（研究代表者：永田昌子（産業医科大学医学部両立支援科学・准教授））の分担研究として実施するものです。

12. 本研究に関する問い合わせ先

本件に関して何かご質問などがございましたら、楽天インサイト株式会社のマイページ「お問合せ」を通じてご連絡ください。

本調査への参加に対する同意の有無については、以下の□にチェックしてください。

本研究への参加に同意します

本研究への参加に同意しません

【スクリーニング項目】

Q1 あなたはがん又は指定難病の診断を受けて1年以上経ちますか

- はい いいえ

※難病とは：「難病の患者に対する医療等に関する法律」第1条で「発病の機構が明らかでなく、かつ、治療方法が確立していない希少な疾病であって、当該疾病にかかることにより長期にわたり療養を必要とすることとなるものをいう。」と定義されています。代表的な難病としては、潰瘍性大腸炎、パーキンソン病、全身性エリテマトーデスなどがあります。詳しくは難病情報センターのHPでご確認下さい (<http://www.nanbyou.or.jp/entry/3756>)。

Q2 現在、何か収入になる仕事をしていますか

- 仕事をしている 仕事をしていない

Q3 あなたは、現在の健康状態で仕事を継続するにあたって、会社から配慮や支援が必要ですか

- はい いいえ

Q4 あなたは、現在、20歳から65歳ですか

- はい いいえ

注意力、集中力、記憶力の低下などの認知機能の異常					
活力ややる気の低下などの気力の異常					
弱視、視野欠損、色覚異常、複視等の視覚の異常					
めまい、失神などの平衡機能の異常					
関節や筋肉の痛み、全身の痛みなど疼痛に関する異常					
発話の流暢性・明瞭性の低下、失語等の発話に関する異常					
全身のスタミナ、疲れやすさなどの疲					

労に関する異常					
軽作業による動悸・息切れ、心肺機能に関する異常					
貧血、血液凝固機能等の血液機能に関する異常					
感染しやすさなどの免疫機能の異常					
消化吸収などの胃腸の機能に関する異常					
下痢、頻尿等の排便、排尿の機能に関する異常					
代謝、ホルモン、体温調整機能に関する異常					
筋力低下、筋麻痺、筋持久力の低下など					

の筋肉に関する異常					
骨折しやすいなど関節や骨の機能に関する異常					
協調運動、不随意収縮、ふるえ、歩行機能等の運動機能の低下					
腫瘍、光線過敏、水疱、発疹、潰瘍等の皮膚に関する機能の異常（					
欠損、変形等、外見・容貌の変化					
少しの無理で体調が崩れやすいこと					
少しの無理で障害が進行すること					

Q11. あなたの病気は、体調が変動（よくなったり、悪くなったり）することによって、社会生活に支障となりますか。

体調の変動の例	特に変動はない	変動はあるが社会生活にはあまり支障がない	社会生活にやや支障がでる	社会生活にかなりの支障がでる	社会生活が全くできない
1日の中で体調が変動					
日～週の単位で体調が変動					
より長期の単位（月、年）で体調が変動					

Q12. 主治医とは仕事について相談できていますか。

できている できていない

【「できていない」と回答した場合には自由記載】

Q13. 病状の悪化や障害進行を抑えるために医師から指示されている制限により、社会生活に支障がありますか。

- 特に制限はない
- 社会生活にはあまり支障がない程度の制限がある
- 制限を守れば、社会生活にやや支障がでる
- 制限を守れば、社会生活にかなりの支障がでる
- 制限を守れば、社会生活が全くできない

Q14. あなたの就労可能な時間を教えて下さい。

- フルタイム勤務でき、残業もできる。
- フルタイム勤務できるが、残業はできない。
- フルタイム勤務できない。

→週（ ）日 1日（ ）時間

- 働けない

Q15. 以下の作業のうち、現在のあなたが可能な作業はどれですか。(複数回答可)

- 屋外で体を使う作業 屋内で体を使う作業
 重量物を取り扱う作業
 コンピューターを使った事務作業
 コンピューターを使わない事務作業
 長時間立位 暑熱場所での作業
 寒冷場所での作業 高所作業
 車の運転 機械の運転・操作
 対人業務 遠隔地出張（国内）
 海外出張 単身赴任
 在宅勤務

Q16. 以下に列挙する就労に関する支援機関のうち、現在利用（相談）している、利用（相談）したことがある、知っているが利用（相談）したことが無い、知らない、をご回答ください。この中に記載のないものは【その他】に記入ください。

	現在利用 （相談）し ている	過去に利用 （相談）した ことがある	知っている が利用（相 談）したこ とが無い	知らない
かかりつけ医療機 関の相談窓口				
保健所、健康福祉 センターの相談窓 口				
市役所（町・区役 所等を含む）の相 談窓口				
地域障害者職業セ ンター				
障害者総合支援セ ンター				
公共職業訓練施設 （職業能力開発 校、職業能力開発				

促進センター等)				
ハローワークの一般求職窓口				
ハローワークの専門援助（障害者）窓口・難病患者就職サポーター				
労働局や労働基準監督署				
産業保健総合支援センター				
地域産業保健センター				
労災病院治療就労両立支援センター				
難病相談支援センター				
障害者就業・生活支援センター				
就労移行支援事業所				
就労継続支援 A 型事業所				
就労移行支援 B 型事業所				
授産施設、作業所、デイケア等				
労働組合				
患者会				
ジョブコーチ				
社会保険労務士				
キャリアコンサルタント				
その他 ()				

Q17. 以下の問いに「はい」「いいえ」でお答えください。

	はい	いいえ
病気による症状や後遺症、治療などにより、業務を行う能力に影響があることで、仕事の継続や職場復帰に困難を感じますか		
病気によって、不安などの心理的な変化が起こったことで、仕事の継続や職場復帰に困難を感じますか		
資格、職位、雇用形態や経済的な事情などといった個人背景が理由で、仕事の継続や職場復帰に困難を感じますか		
自主的な取り組み(意欲、職場への働きかけ、自主トレーニングなど)の不足が理由で、仕事の継続や職場復帰に困難を感じますか		
職場の規模や設備といった職場の特徴が理由で、仕事の継続や職場復帰に困難を感じますか		
職場の理解や配慮、気遣いといった受け入れの姿勢が理由で、仕事の継続や職場復帰に困難を感じますか		
職場における自身の配置に関わることが理由で、仕事の継続や職場復帰に困難を感じますか		
家族や地域に関する問題が理由で、仕事の継続や職場復帰に困難を感じますか		
職場と医療機関との情報のやり取りや連携に関わる問題が理由で、仕事の継続や職場復帰に困難を感じますか		
治療と仕事の両立についての情報の過不足により、仕事の継続や職場復帰に困難を感じますか		

Q18. 現在の勤務先の勤続期間を教えてください。

【 】年【 】月

Q19. あなたの雇用形態は次のどれにあたりますか。

- 経営者・役員 正規の職員・従業員
 パート・アルバイト 労働者派遣事業所の派遣社員
 契約社員 嘱託 その他

Q20. あなたの現在の仕事は以下のどれに一番近いですか。

- 管理職（課長職以上の方はここをチェックしてください）
 専門職（研究職，技師，コンピューターエンジニア，医師，看護師，教員など）
 技術者（電気技術者，コンピューター技術者，栄養士など）
 事務職（一般事務員，経理，秘書，データ入力オペレーターなど）
 サービス（販売員，保安員，ウェイトレス，保育，介護士など）
 技術を必要とする生産技能職（建築，機械修理，整備，手工芸など）
 機械を操作する生産技能職（機械の運転・操作，自動車の運転など）
 身体を使う作業の多い生産技能職（包装，出荷，清掃など）
 その他の仕事

Q21. どのような産業で仕事をしていますか。1つ選んでください。

- 農業，林業 漁業 鉱業，採石業，砂利採取業
 建設業 製造業 電気・ガス・熱供給・水道業
 情報通信業 運輸業，郵便業 卸売業，小売業
 金融業，保険業 不動産業，物品賃貸業
 学術研究，専門・技術サービス業 宿泊業，飲食サービス業
 生活関連サービス業，娯楽業 教育，学習支援業
 医療，福祉 複合サービス事業 その他のサービス業
 公務

Q22. 現在の仕事にあてはまるものはどれですか。（複数選択可）

- 体力的にきつい作業や業務が含まれない仕事
 休憩が比較的自由にとりやすい仕事
 定時に終えられたり、長時間勤務でない仕事
 体調に合わせた柔軟な時間や業務の調整がしやすい仕事
 通院、体調管理、疲労回復に使える休日がある仕事
 通院がしやすい職場での仕事
 いずれもあてはまらない

Q23. あなたは障害者雇用の枠で採用されていますか。

- はい いいえ

Q24. あなたの普段の就業状況をお尋ねします。この1カ月間（令和〇年〇月）の平均した1週間当たりの就業日数、平均的な就業時間及び1日の片道の平均通勤時間をお答えください。

- ・1週間の就業日数 【 】 日
- ・1週間の平均的な就業時間 【 】 時間
- ・通勤していますか。
 - 通勤している
 - 自家用車・バイク 鉄道・バスなどの公共交通機関
 - 徒歩 自転車
 - ・片道の平均通勤時間 【 】 時間【 】 分
 - 通勤していない→ 在宅勤務 内職 その他
 - ・あなたは在宅勤務をしていますか（現在の状況に近いものをお答えください）
 - 週に4日以上 週に2日以上 週に1日以上
 - 月に1日以上 ほとんどしていない
 - ・在宅勤務についてどう思いますか。
 - できるだけ在宅勤務をしたい
 - どちらかといえば在宅勤務をしたい
 - どちらでも構わない
 - どちらかといえば通常勤務がいい
 - できるだけ通常勤務がいい
 - ・過去30日間に、本当だったら休みを取った方が良いと思う健康状態のまま、仕事（在宅を含む）をしたことは何日間ありましたか。
【 】 日

Q25. 勤め先の企業・団体等の組織全体（自営業の方の場合は事業全体）の従業員数について、一つ選んでください。

- 1—4人 5—29人 30—99人 100—299人
- 300—499人 500—999人 1000—4999人 5000人以上
- 官公庁

Q26. 勤務先での対応についてお尋ねします。

1. あなたは、現在の健康状態で仕事を継続するにあたって、会社から配慮や支援を受けられていますか。
 - 受けられていない 受けられている
2. あなたは、ご自身の病気のことについて、勤務先の誰かに相談していますか。
 - 相談している 相談していない
 - 【相談していると回答した方に対して】誰に相談していますか。（複数選択可）
 - 経営者 上司 同僚 人事担当者
 - 産業医や産業看護職などの健康管理スタッフ その他

3. あなたは、ご自身の病気のことを会社（上司や人事、産業医、経営者など）に報告していますか。

報告している 報告していない

【報告していると回答した方に対して】誰に報告していますか。（複数選択可）

経営者 上司 同僚 人事担当者

産業医や産業看護職などの健康管理スタッフ その他

4. あなたは、会社に対して、治療と仕事の両立（治療をしながら仕事を続けること）への支援を申し出ていますか

申し出ている 申し出していない

5. あなたは、仕事を続けるにあたり主治医に意見（書）を求めていますか。

求めている 求めていない

6. あなたは、主治医に意見を求めるにあたり、業務内容を記載した書面を主治医に提出していますか。

している していない

7. あなたは、主治医の意見書を会社に提出していますか。

している していない

8. あなたは、主治医からの意見書をもとに、会社と、治療と職業生活の両立をするために、働き方について相談や検討をしていますか。

している していない

9. あなたは、主治医からの意見書をもとに、治療と職業生活の両立をするために何らかの支援を受けていますか。

受けている 受けていない

10. あなたは、職場で、下記の支援を受けていますか。

支援の内容	支援を受けている	支援を受けていないが、必要としている	支援を受けていないし、必要としない
産業医や産業看護職による事業所内での健康管理			
上司などによる定期的な健康状態の確認			
主治医・専門医と職場担当者を交えた仕事内容のチェック			
職場内で必要な休憩や疾患の自己管理ができる場所の配慮			
通院への配慮			
勤務時間中の服薬や自己管理、治療等への職場の配慮			
能力的に無理のない仕事への配置			
仕事の内容や仕方の個別的な調整や変更			

労働時間や勤務時間に関する環境整備			
新型コロナへの感染、重症化リスクに対する基礎疾患に対応した配慮			

11. あなたは、ご自身が受けている両立支援について、定期的に会社と話し合えていますか。

話し合えている 話し合う必要があるが話し合えていない 話し合う必要がない

12. 会社は、あなたが両立支援を受けることに協力的ですか。

協力的である 両立支援を受ける必要があるが協力的でない 両立支援を受ける必要がない

13. あなたは、治療と仕事の両立支援を受けるために、産業医や保健師、看護師等の産業保健スタッフのサポートを受けられていますか。

受けられない 受けられた 産業保健スタッフがない

14. あなたは、必要な治療を受けられない時がありますか。

ない（いつも受けられている） ときどき受けられている

いつも受けられない

・その受けられない理由は（複数選択可）

仕事を引き継げる人がいないから

他の社員に迷惑がかかるから

仕事量が多いから

取引先に迷惑がかかるから

上司が許可を出さないから

経済的に受診する余裕がないから

その他

15. あなたの職場では、これまでに、治療しながら仕事を続けている人がいましたか。

いた いなかった わからない

16. あなたの職場では、事業者が、治療と仕事の両立支援にあたっての基本方針や具体的な対応方法等の事業所内ルールが作成されていますか。

作成されている 作成されていない わからない

17. あなたの職場では、社内の研修などで、治療と仕事の両立支援について、研修が行われていますか。

行われている 行われていない わからない

18. あなたは治療と仕事の両立について誰かに相談したいと思いませんか

相談したいが相談できる人がいない

相談できる人はいるが、まだ相談していない 相談したくない

相談している

2 回目調査時の案内文

楽天インサイト株式会社が実施する
「治療と仕事の両立支援を必要とする復職後の患者に対する離職要因を検討
するための調査」 調査参加者の方へ

本調査は、以下の内容に同意をされる方のみを対象とします。同意される方は、
「同意する」の項目にチェックをしてから、回答にお進みください。

1. 研究課題名 治療と仕事の両立支援を必要とする復職後の患者に対する離職要因を検討するための調査
2. 研究期間 西暦 2022 年 10 月から西暦 2025 年 9 月まで
※この研究期間には、データ収集後のデータ解析、報告書の作成、論文執筆等の期間を含みます。本調査自体への回答期間は 2023 年 10 月末までとなります。
3. 研究機関 産業医科大学
4. 研究責任者 産業生態科学研究所産業精神保健学研究室 教授 江口尚
5. 研究の目的と意義

治療と仕事の両立支援（以下、両立支援）への関心の高まりとともに、患者が職場復帰時に事業場から両立支援を受ける機会は増えています。これまでの両立支援は診断時の不必要な退職や離職の予防に関心が向けられていました。復職時に適切な両立支援を受けることにより、就労継続し、職場復帰する事例が増えています。一方で、両立支援の次の段階として、職場復帰後に両立支援を受けていたにも関わらず、一定期間就労を継続したのちに、離職や退職をする患者が一定数いることが認識をされています。しかし、その実態の調査はこれまでされていませんでした。

そこで、本研究では、職場復帰後に離職する労働者の実態を把握することを目的としました。

6. 研究の方法

本調査は、楽天インサイト株式会社に委託して実施されます。対象者は、楽天インサイト株式会社が保有するパネル参加者 220 万人の中からメールやホームページ上の広告等を通じて参加の呼びかけを行い、研究参加に同意した参加者が任意に回答します。調査の参加基準は、以下の通りです。

調査実施時点で、がん又は指定難病の診断を受けて1年以上経過している。

調査実施時点で、何か収入になる仕事をしている。

調査実施時点で、現在の健康状態で仕事を継続するにあたって、会社から配慮や支援が必要である。

調査実施時点の年齢が 20 歳から 65 歳である。

なお、アンケートの回答に要する時間は、約 5 分です。

今回の調査は前回ご説明をさせていただきました通り、前回の調査に同意いただいた方々にご依頼をしています。

7. 対象者に生じる利益、負担及び予測されるリスク

本研究に参加することによる直接的な利益および経済的負担はありません。また楽天インサイト株式会社より謝礼として規定のポイントが付与されます。本研究は一切の利益相反はなく、産業医科大学利益相反委員会の承認を得ており、公正性を保ちます。

アンケート内容は、日常生活や仕事に関する一般的な内容であり、心理的圧迫をもたらす可能性は極めて低いと考えられますが、途中で、不快に感じた場合には、自由に中断をすることができます。楽天インサイト株式会社の情報取り扱いについては以下の URL で確認できます。

<https://member.insight.rakuten.co.jp/explanation/security/>

8. 対象者の自由な選択と同意撤回の保障

対象者は研究に参加することの利益と不利益を説明された上で、研究への参加または不参加を自由に選択できること、また、いつでも同意の撤回ができること、たとえ研究に参加しなくても、あるいは途中で参加を中止しても、何ら不利な取り扱いを受けないことが保障されます。本調査については、回答を完了した時点で匿名化されるため、回答完了後に、同意撤回の申し出をされると個人を特定することができなくなるため、データからの削除をすることができません。同意撤回をされる際には、回答完了前に途中終了での対応をお願いします。

9. 個人情報の取り扱い

アンケートデータは、完全匿名化されて、楽天インサイト株式会社より納品されるため、本研究では研究者が個人情報を取得することはありません。

10. 得られた情報の利用目的の範囲

学術発表など研究目的：あり

第三者提供：なし

海外への提供：なし

公的データベース等への登録：なし

11. その他

本研究は、令和5年度厚生労働科学研究費補助金（労働安全衛生総合研究事業）「治療と仕事を両立する患者に対する継続な支援の実態と方策の検討（22JA0201）」の分担研究として実施するものです。

12. 本研究に関する問い合わせ先

本件に関して何かご質問などがございましたら、楽天インサイト株式会社のマイページ「お問合せ」を通じてご連絡ください。

本調査への参加に対する同意の有無については、以下の□にチェックしてください。

本研究への参加に同意します

本研究への参加に同意しません

Q1 今、仕事をしていますか

- はい いいえ

Q2 前回の調査（2022年〇月）以降に転職や退職を経験したことがありますか。

- はい いいえ

【「はい」の場合】

Q2-1 その転職や退職に納得していますか

- はい いいえ

【Q2-1で「いいえ」の場合】

以下からその理由を選択してください。

- 新型コロナウイルスの感染、重症化リスクが怖いため
 主治医から仕事をすることを止められたため
 体力的に自信がないため
 仕事をすることで病状が悪化したため
 自分の体調にあった働き方ができなかったため
 必要な支援、配慮を受けることができなかったため
 勤務先に難病についての誤解・偏見があったため
 公共交通機関での通勤ができなくなったため
 働かなくても経済的に困らなくなったため
 知識・能力に自信がなくなったため 高齢となったため
 家事や育児のため 家族の介護・看護のため
 その他（ ）

Q3 前回の調査から今回の調査までの状況についてお尋ねします。

	とても悪 くなった	やや悪くな った	変わらない	やや良くな った	とても良く なった
治療の状 況					
体調					
家庭の状 況					
職場環境					
仕事の状 況					
働く意欲					

Q4 前回の調査で支援が必要と回答した疾患の治療や管理のために定期的に通院できていますか。

- はい いいえ